

事業所における自己評価結果 (公表)

公表:令和 5年 8月 1日

事業所名 フレンズ鶴見栄町

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である		4	1	ルールをアレンジする、少人数 のチーム制でゲームを行うなど 、プログラムごとに調整を行っ ています。	お子様が自由に身体を動かすこ とができるよう、公共体育館を利用 したいと思っています。
	②	職員の配置数は適切である		1	4	配置数が不足している日でも子ども たちが安全に過ごすことができるよう、プログラ ム内容の調整等を行っています。	配置人数不足の日がないよう、シフトの調整 や新規の雇用を行いたいと考えています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	1	2	2	個々の運動スキルの違いも考 慮し、段差がある付近では運 動遊びを行うことがないよう働 きかけを行っています。	建物の構造上、バリアフリー化は難しい状況 ですが、遊び方を考慮することで子どもたち全 員が安全に楽しめる施設にして参ります。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画 している	1	3	1	集団活動の中でも支援計画 に基づいた個々の目標を設定 し、活動後には提供記録を記 載することで振り返りを行って います。	全指導員が、プログラムの起案から 振り返りにまで携わる習慣をつ けたいと考えています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	1	3	1	アンケート調査の結果のみなら ず、連絡帳の内容についても 全職員が周知できるようホワイト ボードを活用した申し送りを 行っています。	ミーティングに費やす時間を増やし て参ります。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している		4	1	ホームページに掲載し ています。	事業所独自のホームページがなく探しづらいた め、毎月発行の支援報告書に添付し全家庭 に配布いたします。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている		1	4		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	1	3	1	事例検討も含めた研 修を行っています。	事業所内部での研修会(学習 会)の機会を増やし、専門性の 向上を図ります。
適切 な支 援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	3	2		非常勤職員は勤務時間の部 合上、会議への参加が難しい ため書面記載で行動分析を 行っています。	今後も、全指導員の目線でお子 様の支援を行ってまいります。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	1	4		アセスメントツールについて標 準化されたものではありません が、一般的な発達段階表を参 考にアセスメントを行って います。	独自のアセスメントツールを差 作成中です
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	1	4		全指導員がプログラムの立案が 出来るよう、毎回のプログラム について計画書を作成して います。	計画書をベースに、参加する お子様に合わせた プログラムにアレンジを行います。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	5			内容が類似しているプログラムは ありますが、年齢や課題によっ て少しずつ変化をさせて います。	プログラムの内容が類似してい ても、季節の行 事やお子様の関心事に 合わせたアレンジを行 っています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	2	3		学校の終業時間や、利用する お子様の年齢、季節等に 合わせたプログラムを 設定しています。	子どもたちの希望を取り入 れる機会を増やしたいと考 えています。お子様が自由 に身体を動かすこと ができるよう、公共 体育館を利用したい と思っています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス 計画を作成している	4	1		遊びの活動では、集団と個別 (自由遊び)の時間を設 けるようにしています。	学習について、学校のカリ キュラム(宿題)が メインにならないよう、 お子様の習熟度に 合わせた課題設定 を行いたいと考えて います。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の内容や役割分担に ついて確認している	1	4		場当たり的な支援にならない よう、当日参加のお子 様に合わせた支援 方法も含めミー ティングを行って います。	指導員全員でのミー ティングが難 しいため、申し 送りノートの活 用を徹底させたい と考えています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している		3	2	特に打ち合わせの時間を 設けることはでき ませんが、提供記録 の記載を行いなが らお子様の気づ いた点や、プログラ ムの改良点等の 話を行っています。	勤務時間の関係上、 細かな振り返 りを全員で行 う事難しいが、 終 礼は必ず設 けられるよう 調整を行 いたい。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	2		支援計画に基づき、 記録を記載して います。	全指導員が記載に携 われるよう にします。

事業者向け アンケート集計結果 公表用  
(放課後等デイサービス)

		チェック項目	はい	どちらとも いえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している	3	1	1	提供記録を基に、半年待たず に支援計画の目標を達成して いた場合には、支援計画更新 の時期を早めるようにします。	支援計画に記載された目標以外 でも、気付いた行動があったとき には記載を行います。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っている	1	4		地域交流については十分とは言え ないが、地域の美化活動やお祭り 参加など、容易に関わりを持て る処から繋がりを持ってよう取 組んでいる	児童館遊びを組み入れ、遊び の拡大とコミュニケーション力 の向上を目指します。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	4	1		概ね、児発管（管理者兼 任）が参加	今後も、児発管（管理者）が 参加をします。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、 連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っている	2	3		学校とは、送迎時間の確認ま でで留まっていることが多く、個 々の学校での様子を共有する には至っていない。	学校との連携を密にし、集団生活 中の課題サポートを充実させたい と考えています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えて いる	1	4		現在、対象となるお子 様の在籍はありません。	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている		3	2	現在は行っておりませ ん	コロナも5類へと移行したので、来 年度の新一年生に関しては幼保 と情報共有を行い、切れ目のない サポートを行って参ります。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所 から障害福祉サービス事業所等へ移行する 場合、それまでの支援内容等の情報を提供 する等している		3	2	現在、対象となるお子 様の在籍はありません。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている		1	4	現在は行っておりませ ん	今後、研修については参加をして 参りたいと考えています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害 のない子どもと活動する機会がある		1	4	現在は行っておりませ ん	近隣学童と交流を行い、公園等 で合同遊びを行いたいと考えてい ます。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に 参加している	2	3		本年度より、鶴見区 地域自立支援協議 会に参加しています。	今後も参加し、横の連携を密にし たいと考えています。（合同遊び を計画中です）
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っている	4	1		その日の様子は連絡帳やフイ ードブックにて伝えし、プログ ラムの実施状況については毎月 発行の『支援報告』にてお 伝えしています。	今後も継続してまいります。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	1	3	1	特にペアレント・トレーニングの 時間は設けておりませんが、連絡 帳や面談の際にお子様への対 応についてご提案等をさせてい ただくことがあります。	今後も継続してまいります。
保	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	3	2		ご契約時にお伝えして おります。	ご契約時以降も、ご不明点等ご ざいましたらお知らせください。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1		連絡帳や面談の際に お子様への対応につ いてご提案等をさせて いただくことがあります。	今後も継続してまいります。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を支援 している		3	2	コロナの影響もあり、実 施しておりません。	今年度は、分散型で保護者会を 実施したいと考えております。

事業者向け アンケート集計結果 公表用  
(放課後等デイサービス)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			いただいたご意見に対しては、迅速に対応させていただいております。スタッフ間での周知には申し送りノート等を活用し、漏れのないようにしています。	今後も頂いたご意見については真摯に受け止め、改善につなげて参ります。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1		翌月のプログラムでは、支援目的を掲載し、前月の支援報告では活動風景の写真を添付することで、お客様のフレンズでの様子をお知らせしております。	今後も継続して発行いたします。
	③⑤	個人情報に十分注意している	4	1		個人情報は、お客様個々のファイルにまとめ、施錠できるキャビネットにて一括管理を行っております。	今後も、個人情報の扱いには細心の注意を払ってまいります。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	2		お客様個々に合わせた説明や対話を心がけております。	今後も継続して参ります。お客様への対応についてお気づきの点がございましたらお知らせください。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3	1	現在の所、事業所にご招待をする取り組みは行っておりません。	ご招待以前に、まずは事業所から地域に出ることを心がけ、フレンズや子どもたちの存在を地域の方々にお知らせしたいと考えております。今年度は、地域のお祭りに参加をいたしております。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		4	1	各マニュアルの周知は行う事ができていませんが、毎月の避難訓練のお知らせやご報告の紙面にて、フレンズでの対応方法等をお知らせしています。	安心してお客様をお預けいただけるよう、今後もマニュアルに沿った避難訓練および対策を行ってまいります。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	1	1	毎月、火災・地震・水難・不審者など様々な場面を想定した避難訓練を実施しております。	今後も継続して実施して参ります。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	2		定期的に社内全体の研修を行っています。	社内研修にとどまらず、サービス提供時間内の対応について、より適切な方法について常に検討を行ってまいります。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	3		身体拘束が必要なお子様については、支援計画作成面談の際に現状をお伝えし、保護者様のご了解のもと支援を行っております。	今後も適切な対応を心がけて参ります。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	4		医師の指示書は特にご提出いただいておりませんが、アレルギーの状況変化にも対応できるよう、提供おやつの内容を連絡帳にて具体的に お知らせしております。	今後も提供おやつについては注意を払ってまいります。また、エビハンの使用方法などについての研修も行ってまいります。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		5		毎日の日誌に記載を行っています。	ヒヤリハットについて、スタッフ間で共通の認識を持つことが出来るよう研修を行ってまいります。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表)

公表:令和 5年 8月 1日

事業所名 フレンズ鶴見栄町 保護者等数(児童数) 18(19) 回収数 割合 58%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	9	2	0	・利用者が一番多いときに活動するスペースが十分なのか不明。	団体登録を行い、公営の体育館を利用したいと考えております。
	②	職員の配置数や専門性は適切である	8	2	1	・内情がわからないので何とも言えない	専門性の向上につきましては、お子様それぞれの特性に合わせた支援ができるよう学習会等を行ってまいります。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされている	8	3	0		現在の所、バリアフリー化の計画はございません。段差のある個所での動作が難しいお子様につきましては、指導員がサポートを行ってまいります。
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されている	11	0	0		これからも、お子様の円滑な社会生活を目指した支援計画の作成を行ってまいります。
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	10	1	0		楽しみながら目標をクリアすることができるよう、これからもプログラムの作成を行ってまいります。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	5	3		コロナによる制約がなくなったため、近隣児童館の利用を始めました。児童館内では、子ども同士の距離を妨げないよう、介入は最小限に留めながら支援を行ってまいります。
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10	0	1		支援内容、ご利用負担等についてご不明点がございましたらお知らせください。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができている	11	0	0	細かく見ていただき感謝している。必ず良かったところ、少し残念だったところを伝えてもらえるのは、家に帰ってからの今日の振り返りの会話につながっている。	ご家庭と二人三脚でお子さんの成長に携って参ります。ご家庭内、学校にてお子様自身が困っていることがありましたら、連絡帳にてお知らせください。支援計画更新時以外の面談も可能です。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	10	1	0	家や学校であったこと伝えると、安心する言葉や『そういう考えもあるのか』とハッとさせられる言葉もいただけて、親の私も字はせてもらっている。	支援計画更新時の面談以外でも、お子様のごことで気になること等がございましたら、連絡帳にていつでもお知らせください。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	1	3	7	コロナが明けたので、これから父母の機会が増えればと思います。	今年度は、分散型で保護者会を実施したいと考えております。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	2	0		お子様の支援について、ご心配なことやご不明点等ございましたらお知らせください。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	10	1			日々のお子様の様子につきましては、連絡帳および送迎時のフィードバックにてお伝えいたしておりますが、ご家庭からのご要望等がございましたら、何なりとお知らせください。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信している	10	1			プログラムおよび、お子様の支援の様子につきましては、『月のプログラム』、『支援報告書』にてお知らせいたしておりますが、紙面のスペースに限りがあるためすべてのプログラムについてのご報告には至っておりません。紙面にないお子様の様子については、連絡帳にてお問い合わせください。
	⑭	個人情報に十分注意している	10	1			個人情報につきましては、今後も鍵のかかる書庫にて管理を致してまいります。
非常時 等の 対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されている	9	2		・策定されているのかわからないが、保護者に周知・説明している。	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	11				火災・地震・水害・不審者等の災害が起こった際、『自分たちの命を守る』ことに重点をおき、避難訓練を実施いたしております。

保護者等向け アンケート集計結果 公表用  
(放課後等デイサービス)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしている	8	3		・プログラムを通して、コミュニケーションを学んでいる。・自分の子どもの反応で判断させていただいた。・(年齢的なものもあって)行くまでやる気のないように見えることもあるかもしれないが、行ったら楽しんでいると思う。・参加できない時には、本人の意思で休めるよう応じていただき有難い。	終了後に『おもしろかった！』と子どもたちが笑顔になれるプログラムを今後も考えてまいります。 また、大人から与えられるばかりでなく、自分たちで『楽しめる時間』を作ることが出来るよう、子どもたちが持っている創造性・想像性を大切にしたいと考えています。
	⑱	事業所の支援に満足している	10	1		・満足している。尚、要求するならば、カードゲーム等のアナログゲームの機会を増やしていただくと有難い。・プログラムのタイトルが魅力的で気になるものが多く、毎月のプログラムを楽しみにしている。 ・家で教えてこなかったものを学べることができ、いい活動が出来ている。	たくさんのご協力を賜りありがとうございます。 指導員一同、これからもより一層、質の高い支援を提供して参りたいと存じます。 今後ともよろしくお願い申し上げます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等  
デイサービス自己評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。